

研究課題番号	S-19-1
研究課題名	プラスチック資源循環の展開とバイオ素材導入のための技術開発・政策研究
研究実施期間	2021年度～2025年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	吉岡 敏明

1. 委員の指摘及び提言概要

サブテーマ1及び2の要素技術研究についてはおおむね計画どおりに進んでいると判断できる。触媒や酵素の発見によるバイオプラスチックの分解促進が予定以上に進んでいる。収量を向上させるための実験条件についての考察があるともっとよくなると思われる。サブテーマ3では、ケミカルリサイクルを行う場合の費用と純度を考えて推定して欲しい。今後は、生産プロセス全体の考察が必要になると思うので、前処理や反応条件をぜひご検討いただければと思う。バイオマスを原料としたバイオプラスチックの生産に関しては高性能な触媒の探索などが実現したとしても、製品の収率やコスト、副生物（未利用物質などを含む）の扱いなど多様な課題が山積する。Betterな方向へ進むための定量性を有するデータ、知見の集積を期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A